

令和6年(2024年)7月17日  
滋賀県立総合病院

## 滋賀県立総合病院と滋賀県立小児保健医療センターとの病院統合

### 1. 病院統合の目的と目指す成果

- 小児患者に対する医療の充実を図るとともに医療資源を効果的・効率的に活用して診療機能と診療体制を充実・強化し、子どもから大人まで安心・信頼・満足の得られる高度専門医療の提供を推進するため、令和7年1月1日に総合病院と小児保健医療センターを病院統合します。
- 統合によって総合病院の「がん診療」や小児保健医療センターの重症心身障害児・者医療を含む「難治・慢性疾患などの小児医療」など強みを堅持・伸展します。
- 小児保健医療センターの役割・機能は、総合病院へ引き継ぎ充実・強化します。
- 統合後も引き続き重症心身障害児等に対する専門的医療を推進するため「こども医療センター」の設置や、多角的・総合的医療を推進・拡充するため「高度医療センター」の設置等、小児専門医療体制の整備を図ります。

### 2. 統合後の病床数

- 湖南圏域の地域医療構想の実現のため、病床数を最適化しつつ、高度急性期機能の維持・確保、小児急性期病床の確保を含む急性期機能の体制整備を図ります。
- 令和7年1月1日の統合時点は、総合病院（535床）を増床して635床とします。なお、小児保健医療センター（100床）は廃止します。

#### ■病床機能の推移（病床数）

	現 状			病院統合 2025. 1. 1 (R7. 1. 1)
	総合病院	小児保健医療 センター	計	
高度急性期	72	6	78	78
急性期	371	94	465	465
回復期	92	0	92	92
休 棟	0	0	0	0
合 計	535	100	635	635

※ 今後の予定として、令和8年1月を目標に現総合病院の施設内に小児病棟を移転して、全体の病床数を560床とする予定です。さらに、令和11年1月を目途に小児新棟の整備を行う計画です。  
(第五次滋賀県立病院中期計画(改定版)抜粋)